

Acquire

ACQUIRE

Acquire

ご挨拶

過去に「アクワイアの本出そうよ」って話は何度も何度も何度もありましたが、実現しませんでした。

なぜでしょう？

このゲーム、ルールはシンプルなくせにかなり深いのです。だから本という形にまとめることは、とても難解なのです。そこに敢えて今回挑んでみたいと思ったのは、前回の力タンの本で一定の評価をいただきましたので、その勢いというところが大きいですね。

そして誰もやっていないことです、挑戦し甲斐もありますから。

(と思つたら、過去にやった人はいたみたいね。私は知らないんだけど)

ルールの紹介本という形ではなく、ルールを把握した方向けの内容にしたいと思っています。

「必勝本」と言えればいいのですが、そこまでの内容になつておりますかどうかは、手に取られた方にご判断いただけたらと考えております。

注意書き

1.途中で問題が出てきますが、娯楽堂としての回答は巻末にまとめさせていただきました。

2.本文内に出てくるホテルは左記の表記とします。

格安ホテル タワー ルクソール

一般ホテル アメリカ ワールドワイド フェスティバル

高級ホテル インペリアル コンチネンタル

(株価などはAHまたは3M版に準ずる)

序盤 7軒のホテルが設立するまで

*とにかく設立しよう

最初に持っているのは600ドル。その範囲内で全員株を購入していくわけです。ですから、できるだけ安く多くの株を手に入れたいのですが、それには限界があります。

その中で無料で株が1枚貰えるというボーナスは、とても大きなものなのです。

これを見逃す手はありません。

設立すればするだけ、自分が有利になるのですから。

*3つのホテルに絡もう

7つのホテルにそれぞれ筆頭と2着が存在します。

つまり14の権利があるわけです。

4人でプレイするならば、そのうち3.5の権利は主張したいですね。ですが、序盤から大きなホテルもあれば、田舎ホテルもあるでしょう。

それらも踏まえて、最低2つ。

できれば3つのホテルには絡んでおきましょう。

2つのホテルなら、片方は大きくなるホテル。

もう片方は潰れてお金を生むホテルとすることができ

ば、勝敗に絡むことはできません。

しかし両方のホテルとも大きくなってしまふ場合もしばしばありますので、3つのホテルには絡んでおくのが良いでしょう。

ここでの絡んでおくというのは、筆頭か2着の株主には食い込んでおきましょうという意味です。

*負けない8枚

アクワイアというゲームは、各ホテルの株は25枚です。

単独で筆頭になるためには、13枚の株が必要です。

そして2着が確定するのが、8枚なのです。

最悪の状態でも、9枚8枚8枚で2着タイには入れます。

自分が買っているホテルが潰れるのならばいいですが、大きくなってしまったとき、他人にお金やら合併で踏まれることは日常茶飯事というかよくある話です。

それでも8枚の株を持っていれば、2着の権利は守れるのです。このゲームでは筆頭と2着の差も大きいのですが、2着と3着の差は雲泥だと思ってください。

筆頭でも2着でもボーナスにはありつけますが、3着で

はお金が入らないのですから。

高級ホテルでは難しいですが、格安ホテル2軒なら8枚で購入額は¹⁶⁰⁰1600ドル。

これは最初の資金からは捻出できる金額です。

一般ホテルだと²⁴⁰⁰2400ドル必要ですが、3つのホテルに分配するならちよつと²厳しい金額かもしれません。

自分で設立していて²¹⁰⁰2100ドルなら払ってもいいですけども。

ひよつとすると『株を8枚にする』ということは、この本の中で一番大事なこともかもしれません。

上手い人ほど8枚という数字を大事にしていますから。

ただ、8枚にするというのは勝つ戦法ではありません。負けない戦法なのです。

そのことも同時に覚えておいてください。

***相手のホテルは大きくしない**

序盤はとにかく、安く多くの株を保持したいもの。

相手のホテルを大きくすると、その株は買い控えられます。

ホテルが大きくなるってことは、株価も上昇するってことですから。

そして、そのホテルに投資されるはずだったお金は、必然的に他のホテルに回されます。

それはやがて、自分に跳ね返ってくるかもしれません。

2着でいいところが筆頭タイになってみたり、筆頭タイのはずが踏まれてみたりするでしょう。

確かにお見合いしている相手のホテルは大きくしたくないがちですが、少なくとも7軒のホテルが揃うまでは、控えることをオススメします。

***建て捨て**

序盤はとにかく株が欲しいもの。

僻地にホテルを建てて、設立ボーナスの株だけ貰ってその

ホテルの株を買わないプレイを「建て捨て」と呼称しています。

僻地のホテルでは、潰れないから誰も株を買いませぬよね。

ですがアクワイアでは、自分で設立もできず、他のホテル

の2着にも潜り込めないケースがよくあります。

そんなときに建て捨てられたホテルを利用してみましょう。

僻地のホテル周辺にタイトルを置いて、この株を最低1枚

は購入しましょう。

誰かがそのタイトルを利用してホテルを建ててくれれば、

そこは誰も僻地とは呼ばなくなるのですから。

問題 1

あなたは 3 番手。1 回目の購入をパスした 2 回目の手番です。
どのタイルを出して、どの株を買いたいでしょうか？

現金と株の状況

1 番手 4,800 ドル コンチネンタル 1, タワー 4, ルクソール 3
 2 番手 4,800 ドル タワー 6
 あなた 6,000 ドル
 4 番手 5,400 ドル ルクソール 4

1 番手
4,800 ドル



4 番手
5,400 ドル



1-A	2-A	3-A	4-A	5-A	6-A	7-A	8-A	9-A	10-A	11-A	12-A
1-B	2-B	3-B	4-B	5-B	6-B	7-B	8-B	9-B	10-B	11-B	12-B
1-C	2-C	3-C	4-C	5-C	6-C	7-C	8-C	9-C	10-C	11-C	12-C
1-D	2-D	3-D	4-D	5-D	6-D	7-D	8-D	9-D	10-D	11-D	12-D
1-E	2-E	3-E	4-E	5-E	6-E	7-E	8-E	9-E	10-E	11-E	12-E
1-F	2-F	3-F	4-F	5-F	6-F	7-F	8-F	9-F	10-F	11-F	12-F
1-G	2-G	3-G	4-G	5-G	6-G	7-G	8-G	9-G	10-G	11-G	12-G
1-H	2-H	3-H	4-H	5-H	6-H	7-H	8-H	9-H	10-H	11-H	12-H
1-I	2-I	3-I	4-I	5-I	6-I	7-I	8-I	9-I	10-I	11-I	12-I

2 番手
4,800 ドル



あなた 6,000 ドル

手持ちタイル



中盤 初めての合併（セーフティホテルの誕生）

*中盤が無いこともあります

アクワイアというゲームにおいて、中盤が無いことも多々あります。所謂「洗面器」という、どのホテルも潰れないでどんどん大きくなっていく展開です。

ですが今回はそれではなく、7軒設立から数ターンで合併が起こるような展開についてのお話です。

*潰すホテルと育てるホテル

最初の6000ドルという資金で、だいたい3〜4種の株を購入入することになると思います。

その中で、潰して現金を得るためのホテルと、育てて資産にするホテルを選別していくわけですが、これがとても難しいのです。

自分で思い通りにできたらいいんですが、それは望み薄。

他プレイヤーに大きくされてしまったホテルを育て、それ以外のホテルを潰すってのが一般的かなあと。

ですので株の買い方は、どうなってもいいように構えておいた方がいい場合が多いようです。

何でもかんでも13枚まで買う必要はないってことなのですよ。

*筆頭タイという考え方

通常、ホテルを潰すのは筆頭株主です。2着の株主から潰すのは、それなりの理由があるときに限られます。

つまり、ホテルを潰すためには1人でキータイルを引いてこないといけないわけです。

それはあまり効率的とは言えません。

そこで登場するのが、筆頭タイという考え方です。

筆頭のときより実入りは減りますが、2人で潰そうとするので、現金収入の確率がアップします。

また、潰した人は入手したお金で好きな株に手を出し、潰せなかった人はホテルを再興し、筆頭になる権利を得るわけです。これはお互いにとってWIN-WINの関係と言えるでしょう。（他の人に島流しとか喰らわなければですが）

筆頭タイは、高級〜一般ホテルでよく見受けられます。

初期の6000ドルを運用するのに、高級ホテルの株は何枚も買えませんから。

また、好きな株に手を出すためには、そこそこの収入も必要となってきます。

ですので格安ホテルでは、通常筆頭タイは発生しません。
1500ドルでは、十分な収入とは言えません。²³⁰⁰ドルでもパ
ンチ不足。³⁰⁰⁰ドルなら、ちよつとムチャもできるかなとい
う感じでしょうか。

それらの理由から、筆頭タイにするのはお互いに意味の
あることなのです。

***交換するーしない？**

交換すると、手元の株券の枚数が減ります。

ですから交換というのは、本来損なのです。

しかし大きなホテルの筆頭や2着の株主に食い込むのに、
交換というルールがとても大きな意味を持っているのは、お
そらく皆さんご存知のことでしょう。

では、交換はした方がいいのでしょうか？

それともしない方がいいのでしょうか？

私の見解は、大きなホテルの筆頭か2着に確実に入れる
のであれば、交換する価値はあると思っています。

もちろん、単に価値が上がるからという理由での交換は
終盤であれば行うでしょう。

いけないのは、せっかく交換したのに、大きなホテルの
2着にも食い込めないケースです。

これでは交換した意味がありません。

また、複数の合併で何度も交換を行い、大きなホテルの筆
頭になったのはいいけれど、気がついたら手元に他の株がな
かった、などというのは非常に滑稽ですので、注意しましょう。

***2回目の合併までにお金を得よう**

4人でプレイしているのなら、2回目の合併までに収入
を得ているのが平均です。1回の合併でお金を得るのが2
人なわけですから、少なくとも2回目の合併までには現金
を得ておきたいですね。

もしそうでないなら、ちよつと出遅れているのを自覚す
べきでしょう。

また、いくらお金にありついたらと言っても、
1000ドルや1500
ドルではすぐになくなってしまいます。

***資産に合った経営をしましょう**

このゲームは1回の合併で1万ドル以上の収入を得るこ
とも珍しいことではありません。

ではこのお金をどう運用するか？













大金持つてるのに、1手番で使うのが600ドルなんておか
しなことしたりしてませんか？

問題 2

2番手で、先ほどは8-Cを出したあなた。8-Bは持っていたのですが、そこに引いてきたのがなんと9-C！ さて、どのタイルを出しましょうか？
 合併させるなら、交換 / 売却 / 保持はどうしましょう？



現金と株の状況

1番手 0ドル ルクソール 8、タワー 6、アメリカ 8、ワールド 3、
 コンチネンタル 2
 あなた 0ドル タワー 13、アメリカ 5、インペリアル 4、
 コンチネンタル 1
 3番手 0ドル フェスティバル 10、ワールド 4、アメリカ 4、
 コンチネンタル 4
 4番手 700ドル ルクソール 13、フェスティバル 8、インペリアル 1

4番手 700ドル	 1枚	 8枚	 13枚	1番手 0ドル	 8枚																																																																																																													
3番手 0ドル	 10枚	<table border="1"> <tr><td>1-A</td><td>2-A</td><td>3-A</td><td>4-A</td><td>5-A</td><td>6-A</td><td>7-A</td><td>8-A</td><td>9-A</td><td>10-A</td><td>11-A</td><td>12-A</td></tr> <tr><td>1-B</td><td>2-B</td><td>3-B</td><td>4-B</td><td>5-B</td><td>6-B</td><td>7-B</td><td>8-B</td><td>9-B</td><td>10-B</td><td>11-B</td><td>12-B</td></tr> <tr><td>1-C</td><td>2-C</td><td>3-C</td><td>4-C</td><td>5-C</td><td>6-C</td><td>7-C</td><td>8-C</td><td>9-C</td><td>10-C</td><td>11-C</td><td>12-C</td></tr> <tr><td>1-D</td><td>2-D</td><td>3-D</td><td>4-D</td><td>5-D</td><td>6-D</td><td>7-D</td><td>8-D</td><td>9-D</td><td>10-D</td><td>11-D</td><td>12-D</td></tr> <tr><td>1-E</td><td>2-E</td><td>3-E</td><td>4-E</td><td>5-E</td><td>6-E</td><td>7-E</td><td>8-E</td><td>9-E</td><td>10-E</td><td>11-E</td><td>12-E</td></tr> <tr><td>1-F</td><td>2-F</td><td>3-F</td><td>4-F</td><td>5-F</td><td>6-F</td><td>7-F</td><td>8-F</td><td>9-F</td><td>10-F</td><td>11-F</td><td>12-F</td></tr> <tr><td>1-G</td><td>2-G</td><td>3-G</td><td>4-G</td><td>5-G</td><td>6-G</td><td>7-G</td><td>8-G</td><td>9-G</td><td>10-G</td><td>11-G</td><td>12-G</td></tr> <tr><td>1-H</td><td>2-H</td><td>3-H</td><td>4-H</td><td>5-H</td><td>6-H</td><td>7-H</td><td>8-H</td><td>9-H</td><td>10-H</td><td>11-H</td><td>12-H</td></tr> <tr><td>1-I</td><td>2-I</td><td>3-I</td><td>4-I</td><td>5-I</td><td>6-I</td><td>7-I</td><td>8-I</td><td>9-I</td><td>10-I</td><td>11-I</td><td>12-I</td></tr> </table>				1-A	2-A	3-A	4-A	5-A	6-A	7-A	8-A	9-A	10-A	11-A	12-A	1-B	2-B	3-B	4-B	5-B	6-B	7-B	8-B	9-B	10-B	11-B	12-B	1-C	2-C	3-C	4-C	5-C	6-C	7-C	8-C	9-C	10-C	11-C	12-C	1-D	2-D	3-D	4-D	5-D	6-D	7-D	8-D	9-D	10-D	11-D	12-D	1-E	2-E	3-E	4-E	5-E	6-E	7-E	8-E	9-E	10-E	11-E	12-E	1-F	2-F	3-F	4-F	5-F	6-F	7-F	8-F	9-F	10-F	11-F	12-F	1-G	2-G	3-G	4-G	5-G	6-G	7-G	8-G	9-G	10-G	11-G	12-G	1-H	2-H	3-H	4-H	5-H	6-H	7-H	8-H	9-H	10-H	11-H	12-H	1-I	2-I	3-I	4-I	5-I	6-I	7-I	8-I	9-I	10-I	11-I	12-I	 6枚
1-A	2-A	3-A	4-A	5-A	6-A	7-A	8-A	9-A	10-A	11-A	12-A																																																																																																							
1-B	2-B	3-B	4-B	5-B	6-B	7-B	8-B	9-B	10-B	11-B	12-B																																																																																																							
1-C	2-C	3-C	4-C	5-C	6-C	7-C	8-C	9-C	10-C	11-C	12-C																																																																																																							
1-D	2-D	3-D	4-D	5-D	6-D	7-D	8-D	9-D	10-D	11-D	12-D																																																																																																							
1-E	2-E	3-E	4-E	5-E	6-E	7-E	8-E	9-E	10-E	11-E	12-E																																																																																																							
1-F	2-F	3-F	4-F	5-F	6-F	7-F	8-F	9-F	10-F	11-F	12-F																																																																																																							
1-G	2-G	3-G	4-G	5-G	6-G	7-G	8-G	9-G	10-G	11-G	12-G																																																																																																							
1-H	2-H	3-H	4-H	5-H	6-H	7-H	8-H	9-H	10-H	11-H	12-H																																																																																																							
1-I	2-I	3-I	4-I	5-I	6-I	7-I	8-I	9-I	10-I	11-I	12-I																																																																																																							
	 4枚				 3枚																																																																																																													
	 4枚				 8枚																																																																																																													
	 4枚			あなた 0ドル	 2枚																																																																																																													

手持ちタイル

2-B 4-A 8-B 9-C 11-F 12-G

 13枚	 5枚	 4枚	 1枚
-----------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

終盤　　ゲーム終了

*お金より面積

この時点では、おそらく皆さんある程度の現金をゲットしているはず。

ゲームの序盤ではみんな欲しがらる現金も、終盤では必要なくなりませぬ。

現金は使うだけあればいいんですから。それよりも大切なのは、面積です。

自分が筆頭になっているホテルがあるのなら、少しでも面積を大きくしておきたいところ。

特に小さなホテルであれば、6軒までは伸ばしたいですね。アクワイアは6軒から10軒までは同じ価値なのでから、6軒まで伸ばせば上等と考えませぬ。

特に終盤ではね。

そしてセーフティホテルの筆頭になっているのなら、できるだけ他のホテルを自分のホテルに合併させて、面積を大きくすることを考えませぬ。

それによって自分のホテルをどんどん大きくし、資産価値を上昇させることができますから。

*終了フラグ

切った方がいいのか切らない方がいいのか？

迷うことは多々ありますが、基本的には切れるのなら切った方がいい場合が多いようです。

終了を宣言した上で3枚株を買えるというのは、大きなメリットとなりますから。

そして、勝っていると思ったら終了。

負けていると思ったら続行と覚えておけば、そんなにかしなことにはならないでしょう。

負けていて、これ以上順位の変動は有り得ないと思えたら、これも終了でいいんじゃないでしょうか。

*調整

この時期になったら、誰が勝っているかはだいたいわかってくる頃だと思われませぬ。他の人たちには、トップが凹むようなプレイを求められませぬ。

邪魔するだけの交換や株の購入などで、楽には勝たせないようにしましませぬ。

問題 3

あなたは1番手。ワールドの筆頭になれたのはいいのですが、もうゲームも終盤です。この状況での最善手はどれでしょうか？

現金と株の状況

あなた 5,000 ドル アメリカ 12、ワールド 11、インペリアル 3、
コンチネンタル 2
2番手 3,000 ドル アメリカ 8、フェスティバル 5、インペリアル 13、
コンチネンタル 2
3番手 2,000 ドル ワールド 7、アメリカ 4、コンチネンタル 11
4番手 1,000 ドル フェスティバル 7、ワールド 7、インペリアル 8、
コンチネンタル 8

2番手 3,000 ドル		3番手 2,000 ドル		4番手 1,000 ドル																																																																																																																					
		W 7枚	A 4枚	C 11枚																																																																																																																					
A 8枚	<table border="1"> <tr><td>1-A</td><td>2-A</td><td>3-A</td><td>4-A</td><td>5-A</td><td>6-A</td><td>7-A</td><td>8-A</td><td>9-A</td><td>10-A</td><td>11-A</td><td>12-A</td></tr> <tr><td>1-B</td><td>2-B</td><td>3-B</td><td>4-B</td><td>5-B</td><td>6-B</td><td>7-B</td><td>8-B</td><td>9-B</td><td>10-B</td><td>11-B</td><td>12-B</td></tr> <tr><td>1-C</td><td>2-C</td><td>3-C</td><td>4-C</td><td>5-C</td><td>6-C</td><td>7-C</td><td>8-C</td><td>9-C</td><td>10-C</td><td>11-C</td><td>12-C</td></tr> <tr><td>1-D</td><td>2-D</td><td>3-D</td><td>4-D</td><td>5-D</td><td>6-D</td><td>7-D</td><td>8-D</td><td>9-D</td><td>10-D</td><td>11-D</td><td>12-D</td></tr> <tr><td>1-E</td><td>2-E</td><td>3-E</td><td>4-E</td><td>5-E</td><td>6-E</td><td>7-E</td><td>8-E</td><td>9-E</td><td>10-E</td><td>11-E</td><td>12-E</td></tr> <tr><td>1-F</td><td>2-F</td><td>3-F</td><td>4-F</td><td>5-F</td><td>6-F</td><td>7-F</td><td>8-F</td><td>9-F</td><td>10-F</td><td>11-F</td><td>12-F</td></tr> <tr><td>1-G</td><td>2-G</td><td>3-G</td><td>4-G</td><td>5-G</td><td>6-G</td><td>7-G</td><td>8-G</td><td>9-G</td><td>10-G</td><td>11-G</td><td>12-G</td></tr> <tr><td>1-H</td><td>2-H</td><td>3-H</td><td>4-H</td><td>5-H</td><td>6-H</td><td>7-H</td><td>8-H</td><td>9-H</td><td>10-H</td><td>11-H</td><td>12-H</td></tr> <tr><td>1-I</td><td>2-I</td><td>3-I</td><td>4-I</td><td>5-I</td><td>6-I</td><td>7-I</td><td>8-I</td><td>9-I</td><td>10-I</td><td>11-I</td><td>12-I</td></tr> </table>												1-A	2-A	3-A	4-A	5-A	6-A	7-A	8-A	9-A	10-A	11-A	12-A	1-B	2-B	3-B	4-B	5-B	6-B	7-B	8-B	9-B	10-B	11-B	12-B	1-C	2-C	3-C	4-C	5-C	6-C	7-C	8-C	9-C	10-C	11-C	12-C	1-D	2-D	3-D	4-D	5-D	6-D	7-D	8-D	9-D	10-D	11-D	12-D	1-E	2-E	3-E	4-E	5-E	6-E	7-E	8-E	9-E	10-E	11-E	12-E	1-F	2-F	3-F	4-F	5-F	6-F	7-F	8-F	9-F	10-F	11-F	12-F	1-G	2-G	3-G	4-G	5-G	6-G	7-G	8-G	9-G	10-G	11-G	12-G	1-H	2-H	3-H	4-H	5-H	6-H	7-H	8-H	9-H	10-H	11-H	12-H	1-I	2-I	3-I	4-I	5-I	6-I	7-I	8-I	9-I	10-I	11-I	12-I	F 7枚
1-A	2-A	3-A	4-A	5-A	6-A	7-A	8-A	9-A	10-A	11-A	12-A																																																																																																														
1-B	2-B	3-B	4-B	5-B	6-B	7-B	8-B	9-B	10-B	11-B	12-B																																																																																																														
1-C	2-C	3-C	4-C	5-C	6-C	7-C	8-C	9-C	10-C	11-C	12-C																																																																																																														
1-D	2-D	3-D	4-D	5-D	6-D	7-D	8-D	9-D	10-D	11-D	12-D																																																																																																														
1-E	2-E	3-E	4-E	5-E	6-E	7-E	8-E	9-E	10-E	11-E	12-E																																																																																																														
1-F	2-F	3-F	4-F	5-F	6-F	7-F	8-F	9-F	10-F	11-F	12-F																																																																																																														
1-G	2-G	3-G	4-G	5-G	6-G	7-G	8-G	9-G	10-G	11-G	12-G																																																																																																														
1-H	2-H	3-H	4-H	5-H	6-H	7-H	8-H	9-H	10-H	11-H	12-H																																																																																																														
1-I	2-I	3-I	4-I	5-I	6-I	7-I	8-I	9-I	10-I	11-I	12-I																																																																																																														
F 5枚													W 7枚																																																																																																												
I 13枚													I 8枚																																																																																																												
C 2枚													C 8枚																																																																																																												
あなた 5,000 ドル																																																																																																																									

手持ちタイトル

2-A 2-D 2-E 3-F 4-I 5-E

A 12枚	W 11枚	I 3枚	C 2枚
-----------------	-----------------	----------------	----------------

『アクワイアⅡ交渉ゲーム』

こう書くと反論も出そうですが、私は交渉ゲームだと思っています。

実際にカタンやモノポリーのように交渉ってルールがあるわけではありませんが、タイルの置き方、株の買い方がそのまま交渉材料になっているのです。

特に株の買い方にはプレイヤーの意志がそのまま反映されます。

2着に入れるのに入らなかったり、筆頭タイに並んだのに踏み越えられたりするのは、何らかの理由なり意味があるのです。

それらを推測するのは、そんなに難しいことではありません。

そういった相手の意図を汲み取った上で、自分がどのように動くか？

そんなことを考えながらプレイすると、今までとは違った広がりを感じてくれるのではないのでしょうか？

『老害と呼ばれて』

アクワイアⅡ老害というのがゲーム会の常識です。素晴らしいゲームなのですが、このようなレッテルが貼られています。

残念なことですが。

確かに遊んでる人たちはほぼ固定ですし、それは若い衆ではありません。また、このゲームばかり遊んでおります。あまりいい状況とは言えませんね。

どうしてこうなってしまったのでしょうか？

人は加齢と共に、新しいゲームに対応しづらくなります。

ルールがアタマに入っていないかいですね。ルール説明を聞いているのもかかったるくなったりしますし。

そうすると、既存のゲームに傾倒するのです。その中で何度も遊べて、毎回展開の違うもの。そういうゲームは稀少なのですよ。

アクワイアはたまたまその条件に合致しただけなんです。

ここで覚えておいていただきたいのは、人はみんな加齢するってことなのです。だから将来的にはみんな老害と呼ばれるわけです、たぶん。少なくとも、その可能性は秘めています。

ゲーム会におけるアクワイアを、縁台将棋のようなものとしていただけると、老害と呼ぶ人も呼ばれる人も平和に過ごしていけるのではないのでしょうか？

『終わりの挨拶』

ここまでお読みいただき、いかがだったでしょうか？

新しい発見があった人もいるでしょう。

全部知ってるよ、こんなことって人もいるかもしれません。

そいつはどうだろう？　なんて首をかしげる人もいるかも。

でもね、それでいいと思っています。

だってこの文章は、娯楽堂本人が思っていることを書いただけなのですから。

否定的な意見があってもいいですし、真逆の考え方があってもいいんじゃないでしょうか？

大切なことは、アクワイアの本を出したってことなんです。

このゲーム、ルール説明は5分でできるくせに、どうやってら上手いことプレイできるのかが全くわからないんですよね。

つまり、ルールが理解できても遊べないゲームなんです。

ゲームのコツとでも言うんですかね？

それがわかってないと、無目的にタイルを置いて株を買うだけのゲームになっちゃうんですわ。

それでも面白いかも知れませんが、もっと楽しむ方法はあるんじゃないかなーと考えているのです。

本当はマルチゲームとしてのアクワイアについても語りたいところなのですが、これが難解なのです。

カタンなら簡単に調整はできますけど、アクワイアってとても難しいのです。

貧乏人にお金をあげたいからってホテルを潰してあげると、他の1人にもお金が入っちゃうし、潰したことによって交換が発生するわけで、それもまた新たな波紋を呼ぶことが少なくなっています。

全部読み切った上で、調整のための合併なんかできたらいいんですけども、そういうケースは稀なんですよ。

私もそれ目指してみても、大失敗ってケースは過去に何度もありましたからねえ。

娯楽堂からの回答

問題 1

さすがにこの手番でも購入をパスするのは考えもの。

何か購入しておきたいところですが、ルクソールもタワーも割り込んでも2着までには食い込めないと思われます。

残った選択肢は、コンチネンタルしかありません。

これを買うのはあまり得策ではないように思われるかもしれませんが、手札をよく見てください。

3-Iがありますね。

これを出して、他の人が3-Hか4-Iを出してくれば、誰もコンチネンタルを田舎ホテルとは呼ばなくなります。

ですので、出すタイトルは3-Iで宜しいと思います。

問題はコンチネンタルの株を何枚買うか？

1枚は確定で購入しましょう。

2枚買うか3枚買うかは、お任せします。

というのは、高級ホテルの株は高いのですよ。

3枚購入すると1200ドルもするのです。

ですがこの状況では、3枚買ってもいいかもしれません。

序盤からひどい状況ですので、そのくらいしないと戦っていない可能性もありますから。

問題 2

9-Cを出してあげる義理はありませんが、このゲームはかなり忙しい展開となっております。特にマップの左下が。

さらに、一番手がいい形で株を抱えております。

ここを落とす方法はないのでしょうか？

たとえば普通に8-Bを出したとします。

あなたは3000ドルもらって、12枚のタワー株をインペリアル株6枚に交換します。おそらく1番手もルクソール株を持つてますので、将来を見越して交換してくるでしょう。

ここで3000ドルを使って、インペリアル3枚買い足すのはかなり厳しいプレイになります。その瞬間にインペリアル株は13枚となり筆頭が確定しますが、残金600ドルでは戦えないでしょう。

ではタワー株をインペリアル株に交換する枚数を減らしましょうか？ それも現在の優位を自ら放棄するようで癪ですね。

では、どうしたらいいでしょう？

世界からインペリアル株を消してしまえばいいのです。

9-Cを出したとします。あなたがタワー株12枚をインペリアル

株6枚に交換します。1番手も同じように、タワー6枚を3枚に交換したとします。

すると次はルクソールの処理。4番手はこれを見て、12枚のルクソール株をインペリアル6株枚に交換してくるはずなんですよ。そして1番手も全ての株を交換したとします。

そうすると手持ちのインペリアル株の枚数は、

あなた 10枚 1番手 7枚 4番手 6枚

このようになります。

株の購入であなたがアメリカ株を買えば、4番手は残り2枚のインペリアル株を間違いなく買うはず。

ここまでのシナリオがわかっている1番手だとしても、単純に交換すると儲かるってのは抗いがたいですね。

もちろん交換しないで再興するタワーとルクソールの筆頭狙いで保持してくる可能性もありますが、1番手をインペリアルから追い出すことには成功しておりますし、2つのホテルの2着で合併が起きてるのに、インペリアル株の筆頭はおろか2着もないというダメージは、かなり大きなものだと思いますよ。

問題3

まず目に付くのが2-Dでしょうか。

しかし余ってるのはタワーとルクソール。

上手く合併を繰り返し返し、アメリカのセーフティまで可能性はありますけど、現実的ではなさそうですね。

それでも設立は悪いことでは無さそうなので、候補にしておきましょう。

設立はその後でもいいわけですし、そうすると3-Fタイルの持っている意味が変わってくるのです。
アメリカ↓コンチネンタルでコンチネンタルのセーフティという筋書きが消え、アメリカ↓ワールドというタイルになったのですから。

3-Fや5-Eでアメリカ潰せますけど、お金は全員で一番多いし、終盤はお金より面積が大事ですから、これもいい手じゃありません。

そこで盤面をよく見てください。

コンチネンタルが10軒なんですよ。

タイル1枚ついたらセーフティです。

これはあなたよりも、他の人が儲かりそうですね。

そして手元には、自分が筆頭のワールドへ合併するタイルがあるじゃないですか。

設立して株を買っても、儲けは何もなければ2000ドル。

それよりも相手の伸びを消し、自分がボーナス含めて2100ドル儲かるプレイの方が優れているように思われます。



著：娯楽堂

発行：袋小路

発行日：2012/5/13

制作：真砂@ IllegalGuild